



2021年11月5日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高橋 広
 コード番号 6707 (東証 市場第一部)
 問合せ先 I R 部 長 岩田 卓也
 T E L (048)472-1111

第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月11日に公表いたしました第2四半期業績予想と実績値との間に差異が生じたのでお知らせするとともに、同日公表の通期業績予想につきましても修正いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) 2021年5月11日公表	百万円 80,800	百万円 5,900	百万円 5,400	百万円 800	円 銭 33.14
今回実績(B)	86,421	6,449	6,116	1,958	81.17
増減額(B-A)	5,621	549	716	1,158	—
増減率(%)	7.0%	9.3%	13.3%	144.9%	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期第2四半期)	68,138	△630	△738	△4,889	△202.44

2. 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) 2021年5月11日公表	百万円 156,000	百万円 11,500	百万円 10,500	百万円 2,500	円 銭 103.55
今回修正予想(B)	171,000	13,000	12,400	2,600	107.74
増減額(B-A)	15,000	1,500	1,900	100	—
増減率(%)	9.6%	13.0%	18.1%	4.0%	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	156,795	△1,198	△3,406	△6,952	△287.96

3. 第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正の理由

当第2四半期連結累計期間の市況環境につきましては、自動車市場向け製品は、OEM各社の減産がありましたものの、当社顧客のサプライチェーンにおける半導体製品の取り込みは好調に推移いたしました。インバータ化の進展による需要が継続したエアコンや洗濯機等の白物家電市場向け製品は、シーズナリティを想定した期初計画に沿って進捗いたしました。また、サーバ向け出荷増が牽引した産機市場向け製品及び高精細テレビ向けを中心にした民生市場向け製品につきましても、前年比で増加いたしました。また、本年8月に連結子会社の固定資産を譲渡し、売却益14億円を特別利益として計上したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想を上回りました。これらの結果、第2四半期の業績予想と実績値との間に差異が発生いたしました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスによる影響が一部地域では落ち着きを見せておりますが、未だ収束したとは言えない状況にあり、また、中国における経済動向及び電力供給不足による影響も懸念されております。この一方で、期初においては、第3四半期以降に自動車市場でのOEMの減産影響や、先行発注の反動リスクを想定しておりましたが、現在の受注状況を踏まえすと、今年度中は大きな調整局面に入らない見通しとなりました。

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績結果と上記の見通し、及び最終段階にある事業構造改革の進捗に伴う費用計上等を見込んだ上で、2021年5月11日に公表いたしました業績予想を修正いたします。

以 上